

「教育文化最貧国日本」

山梨県立大学長

伊藤 洋

哲学者で碩学の大阪大
 理学長 驚田耕一さん
 リーライターの永江朗さ
 んという異色のコンビが
 「哲学」らしきものに
 て縦横無尽に語り合う
 『哲学個人授業』（バジ
 コ）という肩のこらない
 本がある。深々と降り積
 む二月の雪の夜に、コタ
 ツにあたったみかんでも
 食べながら読むのにぴっ
 たりの本だ。読むにござ
 読をお勧めする。ひ、ご
 この書物の中に驚田さ
 んの発言として、こん
 述がある。『日本ノ一
 ル賞をもろうでしよ。べ
 島津製作所の外田耕一
 ン、ベルかは例えただ、
 ノーベル賞をもらった、
 みんないや、文明批評
 じめるとか、ない。然
 教育論と、か、全、然
 ない領域です。よ、全
 で考え、た、こと、ない
 （中略）それは大衆の典
 じやないです。か、この
 話は哲学者オルテガ・
 イ・ガセットの『大衆の
 反逆』の中から、『大衆
 は自分が無知であること
 を知らない者』と、大衆
 陳述の説明として、だ、
 た部分である。あ、な、
 の「毒舌」ではあ、な、

田中耕一さんとは、島
 津製作所の研究者で、生
 体高分子の同定および開
 造解析のための手法の開
 発で、2002年ノベル
 ル化学賞を受賞した人
 だ。後輩に当たっては、特
 の親しみに感ずる、。特
 に、か、み、を、感、ず、
 た、し、か、に、彼、は、他、
 者、た、ち、は、違、つ、て、
 新聞には、出、て、こ、な、
 「ここで驚田さん、は、
 も、教、養、人、で、あ、る、と、
 こ、い、を、こ、れ、に、つ、い、
 こ、い、と、を、こ、れ、に、つ、
 な、い、と、を、こ、れ、に、つ、
 も、異、論、を、さ、し、は、さ、
 な、い、異、論、を、さ、し、は、
 際、に、だ、ろ、う、し、は、さ、
 と、か、大、学、の、偉、い、先、
 か、聞、け、ば、そ、の、人、の、
 こ、と、の、全、て、が、正、し、
 論、を、形、成、し、う、が、こ、
 な、い、方、向、に、社、会、を、
 挙、げ、た、事、例、は、多、い、
 こ、ん、な、こ、と、に、思、い、
 つ、た、の、は、昨、年、来、の、
 分、け、の、中、で、一、部、の、
 賞、受、賞、者、や、一、部、の、
 長、ら、専、門、家、の、発、言、
 世、論、誘、導、に、大、き、な、
 上、げ、て、い、る、の、が、感、

